

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：山本・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和2年度 病害虫発生予察情報 注意報第2号

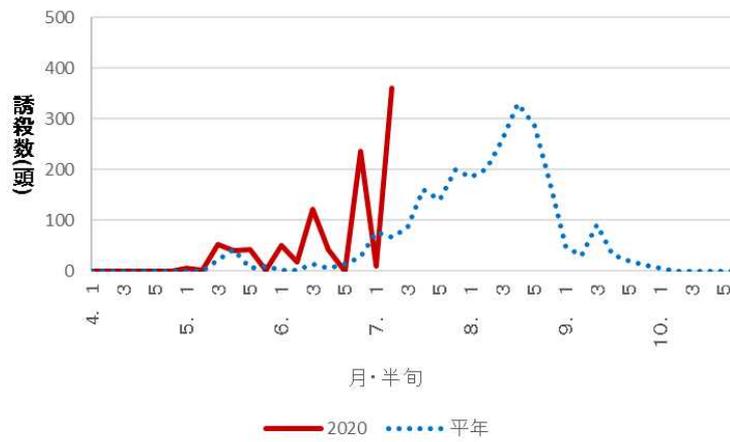
令和2年7月14日

島根県

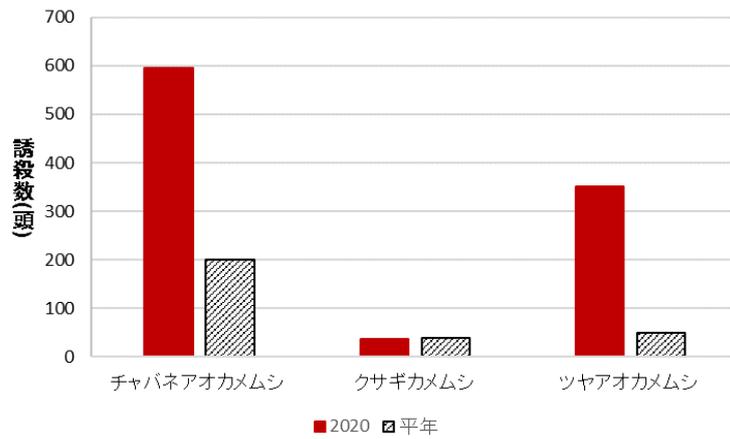
果樹を加害するカメムシ類の発生量が多く、かき、なし、すももなどで被害が多発生する恐れがありますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努めるとともに、発生園では適切な防除対策を講ずるよう指導をお願いします。

記

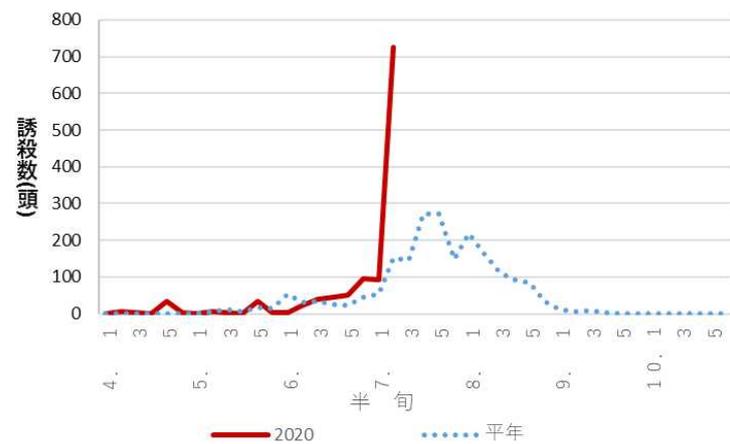
- 1 病害虫名 果樹カメムシ類
- 2 発生地域 県内かき、なし、すもも栽培地帯
- 3 発生時期 7月中旬～
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発表の根拠
 - 1) 予察灯（出雲市）でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの4月～7月第2半旬までの累積誘殺数は983頭（平年値289.8頭）と平年に比べて多く推移している。7月第2半旬の予察灯での3種カメムシ類の誘殺数は371頭（平年値144.3頭）と増加傾向にある（第1図）。
 - 2) 予察灯における3種カメムシ類の4月～7月第2半旬までの種類別誘殺数はチャバネアオカメムシ595頭（平年値201.2頭）、クサギカメムシ37頭（平年値38.6頭）、ツヤアオカメムシ351頭（平年値49.5頭）とチャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの割合が高い（第2図）。
 - 3) チャバネアオカメムシ集合フェロモンのトラップ（出雲市）の4月～7月第2半旬までの累積誘殺数は1,171頭（平年値626.1頭）と平年に比べてやや多い（第3図）。
 - 4) 7月上旬の巡回調査ではかきでの被害果率は0.1%（平年値0.1%）と平年並みであるが、今後かきや無袋栽培のなしなどで被害が発生する恐れがある。なお、有袋栽培のなしでも果実の肥大にともない果実袋を通して加害される恐れがある。
 - 5) 向こう1ヶ月の気象は本種の発生にやや助長的であり被害が増加する恐れがある。
 - 6) なし（無袋）の摘果作業はほぼ終わっている。かきでは摘果作業が行われているが、果実の被害の有無に注意する。
- 6 防除対策及び防除上の注意事項
 - 1) 山間地や山沿いの園ではカメムシ類の発生加害が多いので特に注意する。
 - 2) 薬剤の使用にあたっては、本県農作物病害虫雑草防除指針を遵守する。
 - 3) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターホームページ（<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>）で確認できる。



第1図 予察灯における果樹カメムシ類3種の誘殺消長 (2020年)



第2図 果樹カメムシ類3種の種類別誘殺数(4月第1半旬～7月第2半旬)



第3図 チャバネアオカメムシ集合フェロモンにおける誘殺消長 (2020年)

7 薬剤による防除

表1 かきのカメムシ類の防除に使用する主な農薬（令和2年7月13日登録状況）

農薬の名称	農薬使用基準			IRAC コード*
	使用期限	使用回数	希釈倍率	
アグロスリン水和剤	収穫前日まで	3回	1000倍～2000倍	3 A
アディオソ乳剤	収穫7日前まで	5回	2000～3000倍	
スカウトフロアブル	収穫7日前まで	5回	1500倍	
テルスター水和剤	収穫14日前まで	2回	1000～2000倍	
MR.ジョーカー水和剤	収穫14日前まで	2回	2000倍	
アクタラ顆粒水溶剤	収穫3日前まで	3回	2000倍	4 A
アドマイヤー顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回	5000倍～10000倍	
アルバリン・スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回	2000倍	
ダントツ水溶剤	収穫7日前まで	3回	2000～4000倍	

表2 なしのカメムシ類の防除に使用する主な農薬（令和2年7月13日登録状況）

農薬の名称	農薬使用基準			IRAC コード
	使用期限	使用回数	希釈倍率	
アグロスリン水和剤	収穫前日まで	3回	1000倍～2000倍	3 A
アディオソ乳剤	収穫前日まで	2回	2000倍	
スカウトフロアブル	収穫前日まで	5回	1500倍	
テルスター水和剤	収穫前日まで	2回	1000～2000倍	
MR.ジョーカー水和剤	収穫14日前まで	2回	2000倍	
アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回	2000倍	4 A
アドマイヤー顆粒水和剤	収穫3日前まで	2回	5000倍～10000倍	
アルバリン・スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回	2000倍	
ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回	2000～4000倍	

表3 すもものカメムシ類の防除に使用する主な農薬（令和2年7月13日登録状況）

農薬の名称	農薬使用基準			IRAC コード
	使用期限	使用回数	希釈倍率	
アグロスリン水和剤	収穫前日まで	2回	1000倍	3 A
アルバリン・スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回	2000倍	4 A
ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	3回	2000～4000倍	

*IRACコードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。